

2021年2月28日、当院の新人理学療法士5名が、令和2年度神戸（西）支部新人発表会において、症例発表をおこないました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大を鑑みて、初のオンライン発表となりました。

新人理学療法士は入職してから先輩理学療法士とともに試行錯誤を重ね、発表の準備を進めてまいりました。特に、先輩理学療法士はオンライン発表の経験がないため、年が明けてから院内で幾度となく発表の練習をおこないました。

集大成として臨んだ発表当日は、堂々と発表し、参加者の質問に対してしっかりと答えていました。発表が終わり、新人理学療法士に感想を聞いたところ、「この一年間、色々と悩んできましたが、発表の準備や発表を通じて成長できたと実感しています。患者様をはじめ、指導いただいた先輩や神戸リハ研究教育センターの先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験は必ず患者様に還元するとともに、しっかりと後輩へ伝えます。」と述べていました。

今後もリハビリテーション科は、患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するよう取り組んでまいります。

（文責 藤原聡、佐野紘一、浪越翔太）

【発表練習の風景】



【新人発表中の風景】



【新人発表後の総括風景】

